

天文学の扉を開こう

1月の夜空

～水星を見てみよう～

「金星は見たことがあるけど水星は見たことがないなあ～」という人は多いと思います。地動説を初めて唱えたことで有名なコペルニクスでさえ「私は生涯、水星という天体を見ることがなかった」と嘆いています。水星はそれだけ見ることが難しい惑星ではありますが、観察に適した時期ならば実は比較的簡単に見ることができます。

★水星を見るチャンス★

- 時期：令和4年1月7日～11日
 - 方角：西南西
 - 高度：約10°
 - 時間帯：日沈後の数十分
- ※双眼鏡があれば見やすいです。太陽を見ないように必ず日没後から使用してください。

★水星を肉眼で見ることが難しい理由★

- 太陽の近くを楕円形で公転している。
 - 太陽から離れて見える最大離角の際にも見える位置にいる時間(太陽が地平線の下で水星が地平線より上に位置する時間)が短い。
 - 水星が見える時間帯は朝夕ともに薄明というまだ空が明るい時間帯。水星自体は最高で-0.4等星に輝くが、空が明るいために気づかれない。
 - 見かけの明るさは-0.4等～5.5等と変化。暗い位置では肉眼ではとらえられない。(月よりもやや大きいくらいの小さい惑星なので、明るさも弱い)
- ※その他、太陽から近いために黄道の傾きが小さい時は他の惑星と異なり観察ができなくなります。



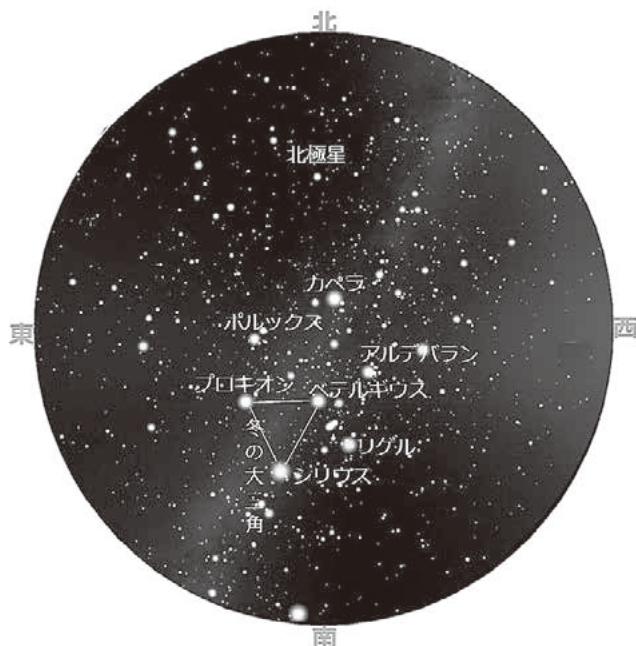
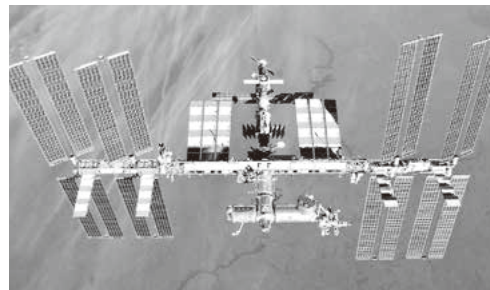
1月9日 17時20分 (イメージ図)

～きぼうを見てみよう～

日本の実験棟「きぼう」は国際宇宙ステーション(以下ISS)の一部です。ISSは、米国・ロシア・欧州・カナダ、そして日本など世界各国が共に作り、運用している、人類初の一大大プロジェクトです。複数の宇宙飛行士が滞在し、実験・研究、地球や天体の観測などを行っています。

ISSは、地上から約400kmの上空を1周約90分というスピードで地球の周りを回っています。実はISSは同じ軌道を回っているのですが、地球が自転によって回転しているため、ISSが通過する位置が変化していくのです。また、ISSは自分で光っているわけではなく月や金星などと同じように、太陽の光を反射して明るく輝いています。ISSを見てみると飛行中にスーッと消えてしまう時があります。これはISSが地球の影に入り太陽光が当たらなくなったことによる現象です。

インターネットで「きぼうを見よう」と入力し検索すると見やすい日時が掲載されていますので、こちらもぜひご覧ください。



1月の星空

○星図の説明

- 15日午後8時の星空です。
- 月初めの午後9時、月末の午後7時にも同じ星空になります(「月」を除く)。
- ※18日が満月です。





リトルミュージアム



『おでんをつくりました!』

せき しゅんすけ さん
「大きくなったら「お医者さん」になり
たいわー」



たかはし あやの さん
「大きくなったら、「鬼滅の刃」胡蝶し
のぶ」になりたいです!」



よしだ あきと さん
「大きくなったら、「レーサー」になりた
いわー」



こちら「地域おこし支援隊 城 智子」

はじめまして。千葉からの移住で10月に高山村民となり、地域おこし支援隊として活動させてもらっています、城 智子と申します。私が高山村を知ったのは今から約1年前のことでした。自然豊かな所で暮らすことを夢見て、登山やトレイルランニングを趣味にもつ夫と、自分たちの理想にフィットする場所を長野や山梨を中心に探していたのですが、なかなかピンとくる所がなく諦めかけていた頃、たまたま通りかかった高山村で、たまたま入ったカエルトープで飯塚咲季ちゃんに出会い高山に興味をもち、それから私たちが移り住むまでは本当にあつという間でした。

村の美しさ、人の温かさ・おもしろさ、資源の豊かさに惹かれ、移住することを決めました。

実際に暮らし始めてからもその感動は褪せることなく、毎日変化する景色と、高山のお米や野菜の美味しさにヨロコビを感じる日々です。

この2カ月間、農体験やボランティア活動で村の方たちにご指導いただいたり、移住者交流イベントに声をかけてもらって参加したり、同じ支援隊であり先輩移住者の



にしやん(西山くん)とさわちゃん(大沢さん)から村のことを教えてもらったりと：楽しみながら高山を知る機会をいただいています。

個人の活動としては、道の駅にできる交流館(仮)のメンバーとして11月から本格的に加わり、微力ながらもこれまでの経験を活かし、尽力していきたいと思っています！

至らないところも多々あると思いますが、どうぞよろしく願っています。

これから高山で初めての冬を迎えます。どれだけ寒いだろうとドキドキしていますが、高山の冬も満喫したいと思っています。